

「防災研修」開催要項

1. テーマ

「自然災害から利用者・職員・地域を守る対策とは
～事例とBCPから見直す実践的な防災・減災対策～」

2. 講師

① 「災害時の支援に求められること ～被災地支援事例を通して考える～」

認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

常務理事 浦野 愛 氏

〈プロフィール〉

大学卒業後、介護施設で介護職として勤務したのち、法人の設立と同時に事務局スタッフとなり、2004年度より事務局長、2009年度より常務理事を務める。発災直後から各地の被災地に入り、避難所運営支援や災害時要配慮者の支援事業、地域防災・災害ボランティア等で活躍中。社会福祉士。

② 「事業所に求められる対策と役割 ～実効性のあるBCPと普段の備え～」

愛知医科大学看護学部地域・在宅看護学 准教授 佐々木 裕子氏

〈プロフィール〉

訪問看護の実践経験を活かし大学で看護師養成に携わりながら、名古屋市内の災害ボランティア団体に所属し、看護職として各地の被災地支援に取り組む。また全国で災害時要援護者支援等をテーマにした研修・講演の実績多数。レスキューストックヤード専門職パートナー。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年2月13日（木） 10:00～16:00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉サービス事業所の施設長、管理者等

（平時の防災対策担当職員や発災時に各種調整業務を担当する職員を含む）

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン（Windows10推奨）及びインターネット環境（光回線）

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境（部屋）

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット（マイクとイヤホン） ※PC内蔵のものでも可能です。

(4) Webカメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

昨今は地震や水害など多くの自然災害が発生しており、広いエリアで「南海トラフ地震」の発生が予測されています。また令和6年8月には初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、個人・家庭・事業所・行政機関や地域において、これまでの対策を再確認する機会となりました。

そうした災害時に支援が必要となる高齢者や障がいのある人が利用する事業所等においては、今年度より BCP(業務継続計画)策定が義務化されるなど様々な対策が講じられています。そこで各事業所での防災・減災対策と併せて、近年発生した災害実例を通して発災時に求められる支援や役割について考えるとともに、実行性のあるBCPの策定・運用や利用者・支援者がともに命を守るための対策について参加者同士で検討し、各事業所や地域における実践につなげる機会として開催します。

7. 日 程

9:15	9:45	10:00	12:30	13:30	16:00
受付	操作説明	<講義・質疑応答> 「災害時の支援に求められること」	昼休憩	<講義・演習> 「事業所に求められる対策と役割」	

※一部内容を変更する場合があります。

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和6年12月10日(火)

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※12月17日(火)までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者に
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※ 1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となる場合があります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。